

♣	扉	世界最大の石炭輸港を封鎖	小畑美史	1
♥	まなぶということ	山田(樋浦)敬子	敬子	2
♠	今月の統計資料			4
◆	詩	五月	太田章子	8



特集

「原発再稼働は現実的」でいいの？

原発を捨てられない日本 …… 飯田哲也 10

突きつけられるエネルギー危機と気候危機 …… 松久保肇 15

柏崎刈羽原発再稼働阻止のたたかい …… 登坂崇規 20

大地動乱の時代 日本にとっての現実的選択 …… 海渡雄一 23

脱原発を実現し、再エネを増加させるドイツ …… 吉田明子 26

現実的な選択肢 四大公害訴訟から考える …… まさのあつこ 30

日本のうしろ 世界のうしろ

アメリカ大統領選挙と民主党の憂鬱 …… 高橋和夫

日中韓の首脳が集まり会談 …… 瀬戸 宏 34

国家と教育 16 学習指導要領の現在 …… 小林和記 54

職場の法律相談 100年たってもつづく男女格差 …… 小竹広子 58

第2特集 最低賃金が世界一になった理由 …… 富田 環 61

◆	キャラバンサライ	42	◆	働くものと健康	52
◆	スポーツ時評	44	◆	情報BOX	64
◆	メルボルン便り	46	◆	北から南から	65
◆	経済を知ろう！	48	◆	センターとみなさんをつなぐ	68
◆	中国観看	50			

カット||野崎安希子

まなぶということ

中学校歴史教科書に起きていること

山田(樋浦)敬子

邇邇芸命 火遠理命 鵜葺草葺不合命。おわかりになるだろうか。これが、中学校の歴史の教科書の本文に登場した。ルビ付きだが太字、つまり、重要語句ですよ、覚えましょう！ のメッセージ付きで。この教科書の執筆者は竹田恒泰氏、明治天皇の玄孫だそう。

今夏は中学校の教科書採択が全国で行われる。社会科の歴史では9社が検定を通り、選定の対象となる。その中の1冊が、竹田氏の「国史」(令和書籍)である。竹田氏は2018年から検定申請をし、6年かけて、今回初めて合格。A5版、縦2段組み、カラーは巻末の資料編のみ、という体裁も特異だが、内容に仰天する。

竹田氏は、執筆の動機を日本の建国の経緯や天皇・日本のすばらしさについて学ばせたいという思いだと言う。だから冒頭に記した「神々」が重要な「人物」として登場し、男系天皇制が強調される。「大東亜戦争」は「快進撃」、「沖繩を守るため」だった特攻隊の死は「散華」。戦艦、戦闘機の大きな挿絵・写真を掲載。こうした「わが国のすばらしさ」の記述満載の一方、周辺の国々、とりわけ朝鮮半島、中国に関する記述には、「貶める」表現があふれている。たとえば日本軍「慰安婦」を「報酬をもらって働いていた職業売春婦」(第4版)と書く。検定意見がつき、修正しているが。

また、日琉同祖論を軸に沖繩が「日本」の一部であることを強調する記述も問題だ。沖繩の人々は「日本人・大和民族」である、「琉球国」はあるけれど「琉球王国」はないと声高に語る動画を竹田氏はXに投稿し、執筆の本意を説明する。この分野の研究蓄積や沖繩の人々の思いは無視だ。ジェンダー視点の欠如は言うまでもない。女性の個人肖像写真は皆無だ。

さすがに公立の採択はないだろうが、検定合格は、歴史修正主義者や右派運動に「国家公認の歴史」として力を与えかねない。「問題ある教科書を教育現場から退場させるのは、専門知と市民の良識によってであるべきで、検閲によるべきではない」(能川元一)とわかっている、どうして合格？ という思いを禁じえない。(山川菊栄記念会)